



平成 25 年度は電話、面談あわせて 149 件のご相談がありました。

- ・粒子線治療など先進医療について
- ・抗癌剤・放射線治療の副作用
- ・緩和ケア・ホスピスについて

など、様々な相談がありました。

重粒子線や陽子線治療を受けられる施設、対象となる疾患についての問い合わせがありました。治療を実施している施設情報をお伝えし、治療の適用や紹介については主治医にご相談いただいています。セカンドオピニオンに対応している医療機関もあります。[セカンドオピニオン](#)

病状など患者さんの状態が一番わかっているのは主治医です。気になる症状や、治療法については主治医に相談しましょう。[がん相談支援センター](#)では、主治医へ相談するための情報収集や、相談内容の整理などのサポートをさせていただきます。

抗癌剤・放射線治療の副作用は、使用する抗がん剤や放射線を当てる部位、また、患者さんによって個人差があります。使用される薬剤や、照射部位がわかっている場合には、発現率の高い症状や、対処法についての一般的な情報提供を行っています。副作用の症状によっては治療の方法や選択に影響する場合もあるため、現在治療中の方は主治医に症状を伝えましょう。

緩和ケアは終末期に限った医療ではありません。がんと診断された時から、患者さんの身体的・精神的苦痛に寄り添う医療です。緩和ケアについての一般的な情報提供や、ホスピス・緩和ケアを実施している医療機関の情報提供を行っています。医療機関の受診には紹介状が必要な場合があります。また、現在受診されている医療機関でも緩和ケアを受けることができるかもしれません。気になる症状があれば、まずは主治医にご相談ください。[緩和ケア・ホスピス](#)